

課題名：重症くも膜下出血患者の自宅退院に関する因子の検討と予測モデル作成

◆研究の目的と概要◆

当院では、重症くも膜下出血患者の自宅退院に関する因子を調べ、その予測モデルを作成することによってリハビリテーション(以下リハ)の的確な目標設定と予後予測法の確立を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2008年7月から、2014年12月までの間にくも膜下出血と診断され、当院脳卒中・脳外科に入院し、リハを施行した方。

◆研究に使用される情報◆

(1) 患者背景:年齢, 入院前 modified Rankin scale, 脳卒中既往(有/無), 認知症既往(有/無), 高血圧既往(有/無).

(2) 重症度: 動脈瘤部位(前方循環/後方循環).

(3) 疾患治療:術式(保存/外科的治療/血管内治療), ドレナージ種類[なし/灌流/脳室または脳室ドレーン(ventricular drain:VD)/脊髄ドレーン(spinal drain:SD)/VDとSDのどちらも異なる時期に使用],シャント術有無

\*外科的治療は、脳動脈瘤頸部開頭クリッピング術やトラッピング術、バイパス術、血管内治療はコイル塞栓術を示す。

〈リハ開始時所見〉

(4) 術直後能力:機能的自立度評価法(functionalindependence measure:FIM) 運動項目の合計点(motor FIM:m-FIM), FIM 認知項目の合計点(cognitive FIM:c-FIM).

(5) 疾患治療:手術から抜管までの日数,発症からVD抜去までの日数,発症からSD抜去までの日数.VD,SD抜去までの日数は,発症から抜去までの日数であるため,挿入していない期間も含んでいる.ドレーンを未留置の症例に関しては,抜去までの日数を0日として扱う.

(6) 合併症:手術操作による脳梗塞発症(有/無),再破裂(有/無),水頭症(有/無),脳血管攣縮(有/無),脳血管攣縮による脳梗塞(有/無),心不全(有/無),呼吸器感染症(有/無),尿路感染症(有/無),髄膜炎(有/無),褥瘡(有/無),深部静脈血栓症(有/無),せん妄(有/無).

\*手術操作による脳梗塞発症は,術後の脳画像所見で新規に確認され,医師が術操作によるものと判断したもののみとする.呼吸器感染症は,誤嚥性肺炎もしくは沈下性肺炎とする.

- (7) 離床:早期端座位開始 (有/無), 早期起立開始 (有/無), 早期歩行開始 (有/無)  
(8) 2 週間経過時点の m-FIM,c-FIM

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）を利用します。

---

- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
- \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

リハビリテーション部 研究責任者 原田 真二

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明